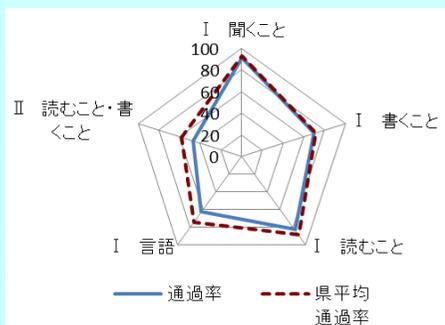
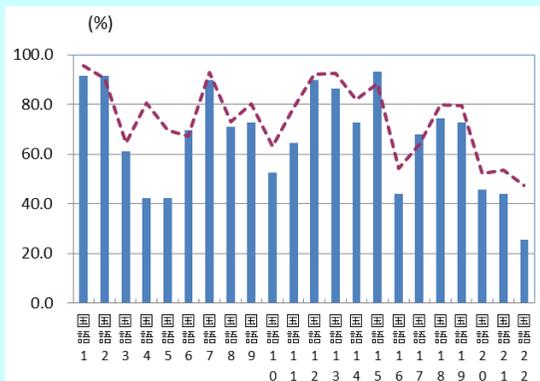


「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率 (本校 66.6%, 県 74.7%)

領域別平均通過率



教科書の平均通過率



本年度の結果について

国語の結果において、タイプⅠは71.0%、タイプⅡは47.0%の通過率となっている。この結果から、基礎的・基本的な学習内容はおおむね定着していると考えられるが、教科で学習した知識・技能を実生活や学習の様々な場面に活用する力などは課題が残っている。領域別でみると、タイプⅠでは、「聞くこと」は91.5%と高い通過率であったが、「言語」については、62.9%と課題が残っている。中でも、簡単な単語についてローマ字で書くこと・読むことが42.4%と低く、次いで、「書くこと」が69.9%と低く、目的に応じた記述を求められる問題については44.1%と低い通過率であった。タイプⅡについては、情報の取り出し・理由や事例を挙げた記述の問題が、25.4%と最も低く、言語事項に関わる既習事項の定着が十分ではないことが、読むことや書くことに反映された結果といえる。

重点課題

- 【課題1】ローマ字の読み書き、漢字の読み、主語・述語の関係、辞書の利用などの伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項に関わる内容について十分に定着していない。
- 【課題2】取材メモから二つを取り出し、一つの文章にするために的確に接続語を選択する力、文末表現を敬体にそろえる力が定着していない。また、情報を的確に読み取り、接続語などの条件に合わせて文章を書く力が弱いといえる。

重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業)

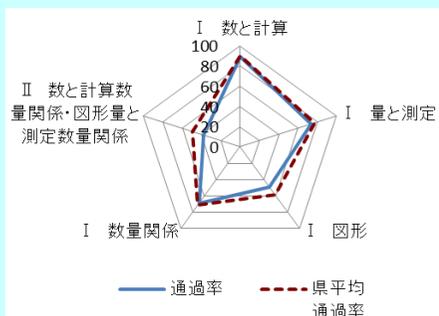
- 【課題1】パワーアップタイム等を活用してローマ字や漢字の復習を確実に行う。ローマ字については、教室の掲示にローマ字を使い、目に触れさせたり、連絡帳をローマ字で記入させたりする。また、パソコンでのローマ字入力等をさせるなどの指導をする。漢字については、ミニテストなどで定着を図る。また、主語・述語については、すべての領域の学習で定着を図る。確かな言葉の獲得のために、各教科の学習時間に分からない言葉を分からないままにしないで、辞書を使って解決する習慣を身に付けさせる。
- 【課題2】「書くこと」の授業では、3・4年生の記述に関わる指導内容を重点的に復習して、意見文等の文章を書かせる。意見文等を書く場合には、自分の立場や主張の根拠として、文章だけでなく図表やグラフなどの資料を意図的、計画的に活用させ、数値や事例などを引用できるように指導する。そして、文章と図表やグラフなどとの関係やその効果を捉えさせた上で、図表やグラフなどを効果的に用いることを確実に指導する。

【課題1】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法	5年生 H27基礎・基本答え解説	5年生 前期末テスト	5年生 H24「全国学力」	5年生 単元末テスト	5年生 H25「全国学力」	5年生 H26「全国学力」	5年生 H27「全国学力」
目標値		80%	65%	80%	70%	70%	75%
実施後数値							

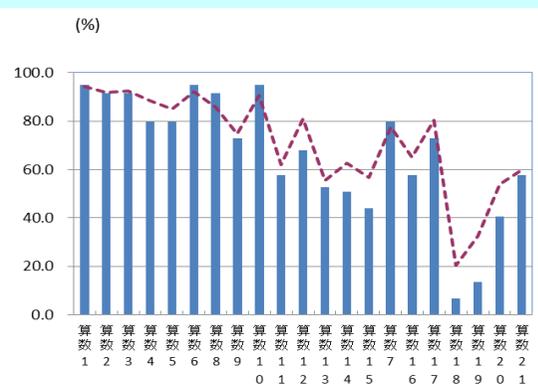
【課題2】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法	4年生 3年生のNRT	4年生 前期末テスト	4年生 H24「基礎・基本」	4年生 H25「基礎・基本」	4年生 H26「基礎・基本」	4年生 H27「基礎・基本」	後期末テスト
目標値	80%	80%	70%	70%	70%	75%	80%
実施後数値							

「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率 (本校 66.3%, 県 71.6%)

領域別平均通過率



数と計算の平均通過率



本年度の結果について

算数の結果において、全体は66.3%、タイプⅠは75.1%、タイプⅡは38.3%の通過率となっている。この結果から、基礎的・基本的な学習内容はおおむね定着していると考えられるが、教科で学習した知識・技能を実生活や学習の様々な場面に活用する力などは課題が残っている。領域別に見ると、タイプⅠ「数と計算」は、89.1%、「量と測定」は、73.3%となっていて、おおむね定着が図られていると考えられるが、「図形」の領域は、49.2%と低く、タイプⅡは、38.3%と通過率が低い。「数と計算・数量関係」で、折れ線グラフと棒グラフを関連付け、自分の考えや解決方法を筋道立てて考え、その考えを数学的に表現することや「図形・量と測定・数量関係」での条件満たす時刻を求めること、情報の整理と判断することに課題があり、図形領域や活用する力の定着が十分ではないといえる。

重点課題

【課題1】垂直と平行の意味理解ができていないことや辺や面の表記の仕方が理解できていないことが課題である。直方体の面と辺の関係について、ある一つの辺に対して垂直な面を捉えられていない児童が47.5%。(通過率52.5%)

【課題2】折れ線グラフと棒グラフを関連付け、自分の考えや解決方法を筋道立てて考え、その考えを数学的に表現することができない児童が93.2%。(通過率6.8%)

重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業)

【課題1】垂直と平行の意味について、感覚を伴って理解させるために、直方体を実際に作ったり、実際に直方体の箱を使って垂直や平行の辺や面を捉えたりさせる活動を行う。辺や面の表し方を正しく記述させるために、どの授業でも算数的用語や記号を正しく使うよう意識して指導する。

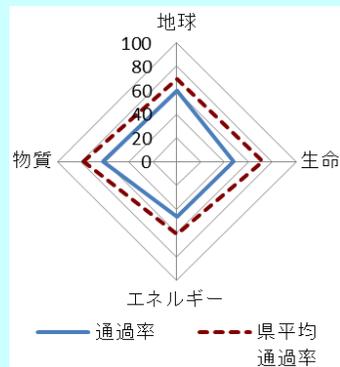
【課題2】折れ線グラフと棒グラフを関連付けて捉え、数量の関係を見だして考えることや、自分の考えや課題を解決する過程を式や言葉、図で表すなど、筋道を立てて考えさせるよう指導する。不十分な説明をよりよい説明に洗練させる。自分の考えを振り返らせ、つまずきや間違いの原因に気づかせることや、不十分な説明を例としてとりあげ、足りない表現を付け加えたり、誤った表現を修正したりする活動を取り入れる。

【課題1】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法	5年生 単元末テスト	4・5年生 前期末テスト	H27 5年生 「基礎・基本」	H27 5年生 「基礎・基本」	H25 5年生 「全国学力」	H26 5年生 「全国学力」	H27 5年生 「全国学力」
目標値	70%	70%	70%	75%	70%	70%	75%
実施後数値							

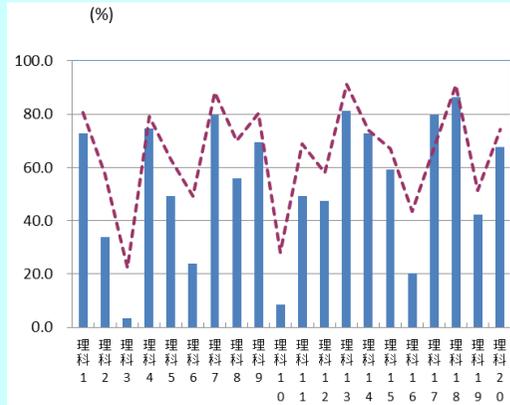
【課題2】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法	H27 5年生 「基礎・基本」	4年生 3年生のNRT	4年生 単元末テスト	H25 4年生 「基礎・基本」	H26 4年生 「基礎・基本」	H27 4年生 「基礎・基本」	後期末テスト
目標値	70%	80%	80%	70%	70%	75%	80%
実施後数値							

「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率 (本校 53.9%, 県 65.3%)

領域別平均通過率



個別の平均通過率



本年度の結果について

理科の結果において、タイプⅠは57.6%、タイプⅡは45.2%の通過率となっている。この結果から、活用問題については依然と課題が残っている。領域別で見ると、A領域では、「エネルギー」を柱とした内容では、「並列つなぎの回路のつなぎ方」が3.4%、「風のはたらきを利用するもの」が33.9%と低く、「物質」を柱とした内容では、「空気と水のあたたまり方と生活との関連」が47.5%と低かった。一方、B領域の「生命」を柱とした内容では、「昆虫の体」が8.5%、「植物の成長の規則性」が23.7%と低く、「地球」を柱とした内容では、「方位磁針の正しい使い方」が20.3%、「水の自然蒸発」が42.4%と低かった。この結果から、タイプⅡのような問題で、A領域ではある事実や実験結果から、B領域では観察を通して環境とのかかわりについてそれぞれの観察結果と関連させる見方・考え方が課題であるとわかる。

重点課題

- 【課題1】身近な昆虫の成虫の体が頭、胸、腹の三つの部分からできていることが正しく認識されていない（通過率 8.5%）。また同様に、植物の成長の規則性についても正しく認識されていない（通過率 23.7%）。このことより、それぞれの観察記録を整理して知識に結びつけて考える事に課題がある。
- 【課題2】並列つなぎの回路のつなぎ方を正しく図に表せていない（通過率 3.4%）。このことより、実験結果から分かったものの構造について、正確に作図して答えることに課題がある。

重点課題に対応した改善指導内容及び方法（授業）

- 【課題1】実物を観察する機会をより多くとり、実感をともなった理解へと結びつけることができるようにする。観察記録をする場面では、実物どおりに正確に記録することや、記録を時系列で整理させるなどして、知識へと結びつけることができるようにする。
- 【課題2】実験をする場面で、自分で課題を見つけ、追求意欲が連続するようにする。じっくり観察し、何度もその教材に触れたり、試行錯誤したりできる時間を多く設けてイメージをもたせ、回路の構造を正しく理解させる。実験後にはノートに正確に作図させ、学習内容の定着につなげるようにする。

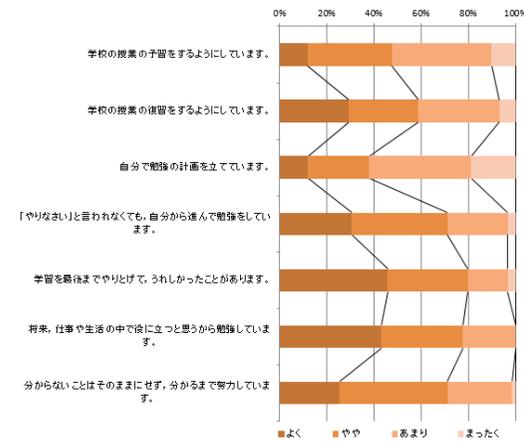
【課題1】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法	5年生 H27「基礎・基本」	5年生 前期末テスト	5年生 3年市教委確認問題	5年生 4年市教委確認問題	5年生 5年 CRT	5年生 H27「全国学力」	5年生 学年末テスト
目標値	70%	80%	80%	80%	80%	80%	75%
実施後数値							

【課題2】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法	4年生 単元末テスト	4年生 前期末テスト	4年生 単元末テスト	4年生 H25「基礎・基本」	4年生 H26「基礎・基本」	4年生 H27「基礎・基本」	4年生 学年末テスト
目標値	80%	80%	75%	70%	70%	75%	80%
実施後数値							

質問紙調査（「基礎・基本」定着状況調査：児童質問紙調査）

(1) 生活・学習

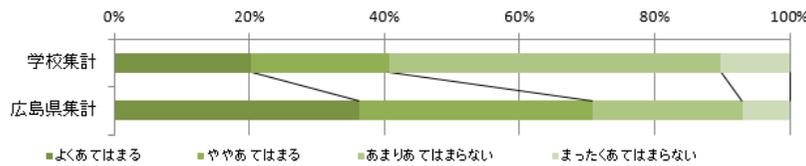
学習習慣・学習動機・学習意欲



児童の回答についての課題（現状値）	今後の具体的な取組の内容	学年	目標値	検証方法	検証時期	実施数値	現状からの伸び
「学校の授業の復習をするようにしています。」 ・肯定的な回答＝58.6%	・自主的に学習の復習に取り組めるように、家庭学習のあり方を改善していく。 ・ノートの使い方を工夫し、効果的な復習をするスキルを身につけさせる。	5	70%	・児童アンケート	3月		

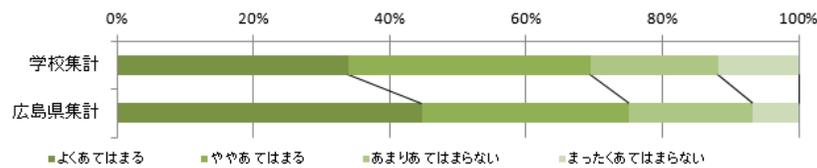
(2) 教科

国語の授業で学んだことを、ふだんの生活の中で使ったり、学んだことがどのような場面で使えるのか考えたりしています。



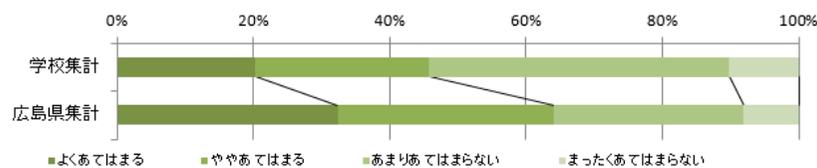
	児童の回答についての課題（現状値）	授業改善の方向性や具体的な取組	学年	目標値	検証方法	検証時期	実施数値	現状からの伸び
国語	国語の授業で学んだことを、ふだんの生活の中で使ったり、学んだことがどのような場面で使えるのか考えたりしています。 ・肯定的な回答＝40.7%	・学習したことを実生活の場面と結びつけて考えられるようにする。	5	70%	・児童アンケート	3月		

算数の授業の中で、学んだことの振り返りをしています。



	児童の回答についての課題（現状値）	授業改善の方向性や具体的な取組	学年	目標値	検証方法	検証時期	実施数値	現状からの伸び
算数	算数の授業の中で、学んだことの振り返りをしています。 ・肯定的な回答＝69.5%	・授業の終わりに学習したことをノートにまとめ、その時間の振り返りをする。 ・単元の最後に、大きな振り返りをしてまとめる。	5	75%	・児童アンケート	3月		

理科の授業では、自分の考えをまわりの人に説明したり発表したりしています。



	児童の回答についての課題（現状値）	授業改善の方向性や具体的な取組	学年	目標値	検証方法	検証時期	実施数値	現状からの伸び
理科	理科の授業では、自分の考えをまわりの人に説明したり発表したりしています。 ・肯定的な回答＝45.8%	・ノートに予想を記述する時間を確保し、考察の方法をしっかり理解させた上で、意見交流や発表する時間を確保するようにする。	5	70%	・児童アンケート	3月		